

## SDGs (14) を目標に、天草の海の生物多様性を学ぶ！先端技術を活用した海の教材作成

活動地域  熊本県



先端技術を活用した干潟生物調査を実施

### 課題

地域住民の海への関心が低く、定量的な海の生物調査はほとんど行われていない。海を活用する人材が限られており、子どもたちが地域の海について学ぶ機会は限られている。

### 目標

天草の海の生物多様性を明らかにし、海に親しむ親を増やす。水産業が持続的に行われるなど海を活用し保全する人材を増やす。



今後の  
展望

干潟だけでなく、アマモ場や磯など多様な沿岸域の生態系で生物調査を実施する。先端技術を活用した遠隔地生物観察、海の教材・映像教材の制作をさらに発展させる。指導者養成講座を開き、スタッフを養成する。

はじめる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

### 活動内容と成果

①天草市栖本町の干潟で生物調査を2回実施し、生物マップを制作した。海に足を運ぶことが困難な方にも自然観察を楽しむ機会を提供するため、ドローンやVRカメラで映像を撮影し、天草海部のYouTubeチャンネルに公開した ②指導者向けの海のデジタル教材「天草・海の冒険サポーターズテキスト」を制作し、HPに公開した。栖本かっぱ祭りで栖本中学校の生徒とともに映像教材の体験会を実施した ③天草市で干潟体験モニターツアーを開催した。遠隔地から専門家に生物の同定をお願いし、イベントのライブ配信を行った



ドローン・水中ドローンも活用して映像制作

干潟調査・ツアーの実施

3回

生物マップ・教材の完成

1セット

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

90%

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

参加者募集。広大な干潟が当たり前にあるので、海の生物調査というだけでは参加者が集まらず苦労した。

#### ■ 工夫した点

Web会議ツールなど先端技術を取り入れた遠隔観察手法を構築。海に行くことが困難な方にも自然を楽しんでもらえる工夫をした。



〒861-6303

熊本県天草市栖本町馬場215

E-mail : amakusaumibu@gmail.com

HP : <https://umi-bu.com>